

お知らせ

河川堤防のモニタリング調査を開始

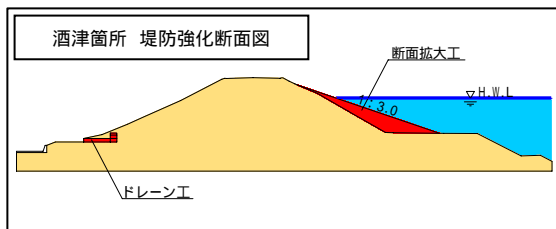
(高梁川堤防質的強化対策の検証について岡山大学と共同研究実施)

河川堤防のモニタリングについて

高梁川酒津箇所は、旧河川の締切り跡であり、堤防質的強化対策の全国的な取り組みに先駆けて、平成16年度から堤防強化対策工事に着手しています。また、当該箇所は対策工法の効果を検証するため、河川堤防内に水位計を設置し、洪水時の河川水が堤防内へ浸透する状況を調査する『**モニタリング河川**』として選ばれています。

よって、平成18年度より水位データなどを収集し、**岡山大学との共同研究**によりその効果を検証し、将来的には堤防の安定度を診断するシステムの構築を図っていく計画です。

堤防強化工事 完成状況



【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

TEL (086)223-5101(代)

URL <http://www.okakawa-mlit.go.jp>

副所長 小坂田 堅(内線 204)

工務課長 國本 哉智(内線 311)

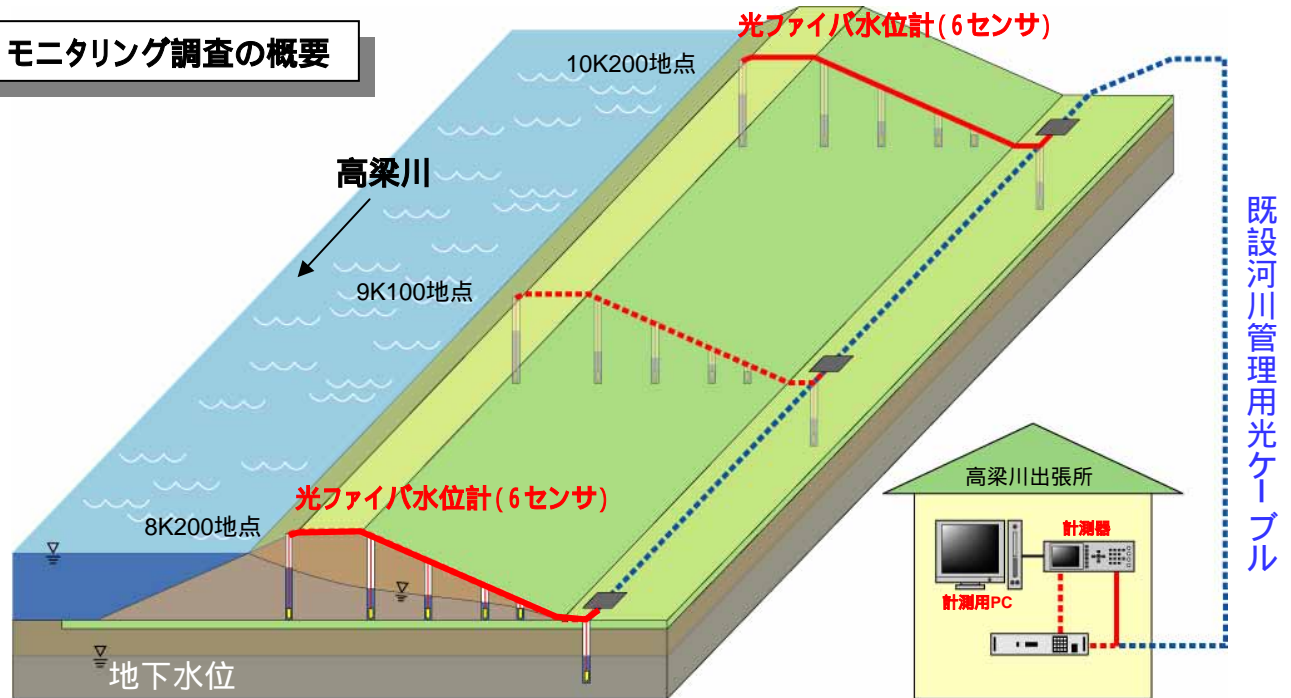
質的整備事業の概要

従来の河川堤防(以下「堤防」という。)の断面形状は、長い歴史の中で被災状況に応じて経験的に定められてきたものです。

しかし、平成16年度の台風等により全国各地で堤防が越水や漏水で破壊されたことを受けて、平成17年度より5年間で堤防の詳細点検を実施し、その結果、漏水等が起こる危険度が高い堤防について、「漏水破壊防止対策」として堤防強化事業を実施しています。



モニタリング調査の概要



高梁川の3箇所において、堤防内に光ファイバ水位計を設置し、洪水時など河川の浸透水を計測します。計測した水位データは既設の河川管理用光ケーブルを通じて高梁川出張所のサーバーに保存されます。

- 既設河川管理用光ケーブル
- 新設光ファイバ
- 新設光ファイバ(H18設置予定)

さんせん
岡山三川の堤防詳細点検の実施

事業概要

平成16年度に、大雨や台風により日本各地で堤防が破堤するなど、甚大な被害に見舞われました。これまでの堤防整備では、盛土を高くしたり、堤防の断面を大きくするといった量的な整備を進めてきましたが、平成16年度の災害では、漏水により堤防が破堤するといった要因もありました。

これを受け、国土交通省では堤防の土質調査を行い、漏水の危険性について堤防の詳細点検の実施を進めています。調査は、岡山三河川の直轄管理区間の全区間を対象とし、平成21年度までに調査を完了する予定です。

【平成18年度の調査概要】

堤防のボ - リング調査を行います。

各河川の調査予定延長

吉井川水系・・・ 6.3 km

旭川水系・・・ 7.85 km

高梁川水系・・・ 14.3 km

	点検必要延長	実施済み延長	進捗率
吉井川	54.2 km	9.7 km	18%
旭川	51.7 km	16.1 km	31%
高梁川	50.9 km	18.2 km	36%

状況写真

